

平成26年度 長崎県立佐世保商業高等学校 学校評価表（自己評価案）

学校教育目標	青年を大人へ、さらには紳士・淑女への理念のもと「生きる力」を身に付けさせ、地域社会に貢献できる人材を育成する。 (1) 経営方針 進路保障を基礎とし、専門高校の拠点校としての責務を果たすとともに、地域に存在価値のある佐商づくりをする。 (2) めざすべき学校像 ①進路保障のできる佐商 ②規律ある佐商 ③部活動などによる校風づくりのできる佐商 ④地域に貢献できる佐商
前年度の成果と課題	○学校経営方針等がやや浸透していない。教職員の共通理解を高める必要がある。 ○家庭学習の時間確保や課題の提出状況の改善が課題である。 ○ICT機器の活用は徐々に増加しつつある。 ○学習評価については、多面的な評価の方法と必要性については定着してきた。 ○生徒の自主的活動を重視した行事運営や発表会に改善されてきた。 ○形式的ではなく気持ちの良い挨拶を心がけさせたい。 ○相談体制は職員の連携ができていない。 ○服装・容儀面では全校で統一した指導がさらに必要である。 ○生徒の安全衛生に関する連携は円滑である。 ○人権・同和教育は研修等により改善されつつある。 ○学習との両立が難しい生徒も見受けられた。 ○分掌主任間のコミュニケーションを一層深め、仕事をやりやすくする工夫が必要である。 ○経年研修の研究授業への参加や研修成果の伝達などを活発にしていきたい。 ○情報セキュリティでは、日頃の意識を高める必要がある。 ○本年度から保護者向けに発行している「佐商だより」は好評であった。校外での学習発表会など開かれた学校を目指す。
重点努力目標	(1) 真剣に学ぼう 本物の学力を身に付けるように努める。(知)・・・自己に厳しく、学び続ける生徒 (2) マナーを身に付けよう 基本的な生活習慣を身に付けるように努める。(徳)・・・心豊かで思いやりのある生徒 (3) 心身をととも鍛えよう 部活動に積極的に参加するように努める。(体)・・・心身ともに健康づくりに取り組む生徒
モットー	・明るいあいさつを交わそう ・感謝の気持ちを込めて掃除をしよう ・チームワークを大切にしよう
評価の基準	4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない ※評価ができない場合は、0（ゼロ）を記入

【評価分野】1 学校経営（前期2.8 → 最終2.8）			今年度評価			
評価項目	具体的な目標	NO	前期	最終	前年度	成果と課題
①学校教育目標	学校の実態に即した目標が設定され、教職員の共通理解のもとに教育目標の具現化を図る。	1	2.8	2.8	2.7	
②学校経営方針	経営方針が学校内外に明確に示され、教職員がその方針に基づいて教育活動を展開する。	2	2.7	2.7	2.6	
③重点努力目標	学校評価等の結果を踏まえた努力目標が設定され、各教育活動において努力目標達成のための指導を行う。	3	2.8	2.8	2.8	

【評価分野】2 教育活動（前期3.0 → 最終3.0）			今年度評価			
評価項目	具体的な目標	NO	前期	最終	前年度	成果と課題
①教育課程	学習指導要領の主旨を生かし、創意工夫した特色ある教育課程を編成する。	4	3.0	3.0	2.9	個人による作品作りは生徒に達成感を与えている。1年間を通しての成果である。
②教科指導	基礎基本の内容の重点化、わかる授業、個に応じた指導が展開されている。	5	3.0	3.0	2.9	
	家庭学習用課題は90%以上の生徒はやってくる。	6	2.4	2.7	2.3	
	教材研究を十分に行い、生徒の実態に応じて指導方法を工夫する。	7	3.0	3.0	3.0	
③学習評価	教育機器や教具を活用し、効果的な授業を行う。	8	2.7	2.8	2.7	
	担当教師間で評価規準を定め、各学期ごとに確認しながら評価を行う。	9	3.3	3.2	3.2	
④総合的学習(課題研究)	考査以外の観点も評価に加え、多面的に評価する。	10	3.4	3.3	3.3	
	総合的な学習の時間のねらいが満たされた課題研究の検討・研究を行う。	11	2.7	2.8	2.7	課題研究における発表内容の充

⑤特別活動	年間計画に基づいたHR計画、事前準備、活発な活動を展開する。	12	2.7	2.8	2.7	実を図る。
	生徒の自発的・自主的な生徒会活動を展開する。	13	3.0	3.2	3.0	
⑥生徒指導	服装、容儀等について教職員が共通した指導を行う。	14	2.7	2.8	2.6	
	外来者や教職員に90%以上の生徒が挨拶をする。	15	3.0	3.1	2.9	
	カウンセリング・マインドを持って生徒の相談に応じる。	16	3.0	3.1	3.0	
⑦進路指導	多様な進路希望に対応できる組織・情報・資料等の体制ができています。	17	3.0	3.3	3.1	
	3年生は3月末までに95%以上の進路実現が達成できる。	18	3.4	3.6	3.3	
⑧健康・安全教育	生徒の健康状況の把握について、養護教諭・分掌・担任等の連携を図る。	19	3.4	3.4	3.3	SNSに対するモラル教育を授業に取り入れることが必要と感じる。
	衛生や安全に配慮した生活を送れるような指導がなされている。	20	3.1	3.2	3.0	
⑨人権・同和教育	人権尊重に関する様々な課題を認識させ、解決のための実践力を身につけさせる。	21	2.8	2.7	2.6	
⑩部活動	部活動を奨励し、学習との両立も図られている。	22	2.8	2.7	2.7	学習との両立が課題である。
	部活動により、達成感、好ましい人間関係、個性の伸長が図られている。	23	3.0	3.0	2.8	

【評価分野】3 組織運営 (前期2.6 → 最終2.6)			今年度評価			
評価項目	具体的な目標	NO	前期	最終	前年度	成果と課題
①校務分掌	前年度の各分掌の課題を明確にし、その解決を図る。	24	2.7	2.7	2.5	生徒会各種委員長の活動をもう少し増やす必要がある。
	校務が円滑に進められるよう、分掌間の連携を図る。	25	2.5	2.6	2.4	
②各種委員	委員会活動が教育活動や学校経営に生かされている。	26	2.7	2.6	2.5	
③自己研修	授業見学等の機会を設け、教員相互の教育実践の向上を図る。	27	2.5	2.4	2.7	校内での授業研究の必要性を感じる。
	教育課題をふまえた適切な校内研修を行う。	28	2.5	2.5	2.7	
	教育センター等の各種研修会へ積極的・計画的に参加し、資質の向上を図る。	29	2.6	2.6	2.5	

【評価分野】4 教育環境 (前期3.0 → 最終3.0)			今年度評価			
評価項目	具体的な目標	NO	前期	最終	前年度	成果と課題
①学校環境の整備	全生徒、全教職員で日々の清掃活動に取り組む。	30	2.9	2.9	3.0	職員の掃除区域での指導が不十分である。
	施設・設備を教育活動に有効に活用するとともに、安全点検を適切に行う。	31	2.9	3.0	2.9	
②情報セキュリティ	本校の管理要綱にもとづき、データの持ち出し・送付等、情報セキュリティ対策が遵守されている。	32	3.1	3.1	3.0	適切な対応により遵守されている。

【評価分野】5 開かれた学校づくり (前期2.9 → 最終2.8)			今年度評価			
評価項目	具体的な目標	NO	前期	最終	前年度	成果と課題
①保護者との連携	学校活動や生徒情報などを保護者に提供し、学校と保護者の連携を図る。	33	2.9	2.8	2.8	中学校との情報交換は必要である。
②地域や関係機関との連携	学校情報を地域や関係機関に積極的に提供する。	34	2.8	2.7	2.7	学校の情報をHPでもっと発信すべきである。質と量の両面から発信する。
	周辺大学・高校・中学及び関係機関等との、情報交換や連携を図る。	35	2.8	2.6	2.8	
	教育活動に学社融合を図り外部講師やインターシップ制等を有効に活用する。	36	3.0	3.1	3.0	

平成26年度 佐世保商業高等学校 学校評価（保護者用）

2015.1月実施

（4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない）

番号	項目	1年(96.9%)	2年(98.3%)	3年(98.7%)	全体	H25(全体)	H24(全体)
1	学校の教育目標やモットー等を認識している。	2.9	3.0	3.2	3.0	3.0	3.0
2	学校は生徒のマナーや服装などについての指導を十分行っている。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.4
3	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2
4	学校は系やコースや選択科目についてわかりやすく説明してくれる。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2
5	先生は親身になって相談ののってくれる。	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.1
6	学校は進路に関する情報を提供してくれる。	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2
7	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	2.8	2.7	2.9	2.8	2.7	2.7
8	各生徒の学習評価は適正に行われている。	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1
9	学校の雰囲気がよく、子どもたちは楽しく生活している	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.4
10	学校は衛生的で、きれいに清掃されている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.3
11	学校には教育に必要な施設・設備が整っている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3
12	学校は学校の状況や子どもの様子について情報提供をしてくれる。	3.0	2.9	3.1	3.0	2.9	2.8
13	学校は地域から評価されていると思う。	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2
14	外部から講師を招いての授業や講話は意義がある。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
15	子どもは通常家庭学習を行っている。	2.9	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8
16	子どもは学校行事を楽しみにしている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.2	3.2
17	子どもは髪型・服装等については高校生らしい身なりをしている。	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4
18	子どもは積極的に部活動に参加している。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
19	子どもは自分なりの目標を持ち、努力している。	3.2	3.1	3.4	3.2	3.2	3.2

平成26年度 佐世保商業高等学校 学校評価（生徒用）

2015.1月実施

（4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない）

番号	項目	1年(96.9%)	2年(98.3%)	3年(98.7%)	全体	H25(全体)	H24(全体)
1	学校の教育方針やモットー等を知っている。	2.6	2.6	2.7	2.7	2.6	2.5
2	生徒のマナーや服装などについての指導は適切に行われている。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.6
3	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	2.9
4	学校は緊急時の対応についての指導をしている。	3.0	3.1	3.1	3.1	2.9	2.7
5	学校は系やコースや選択科目についてわかりやすく説明してくれる。	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.2
6	先生は親身になって相談ののってくれる。	3.1	3.0	3.2	3.1	3.0	3.0
7	学校は進路に関する情報を提供してくれる。	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4
8	先生は補助教材や教育機器などを活用し、授業を工夫している。	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9
9	授業は分かりやすい。	2.9	2.8	3.0	2.9	2.8	2.8
10	テストの成績以外の面からも学習の評価がなされている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
11	学校の雰囲気がよく、楽しく生活している	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3
12	学校は衛生的で、きれいに清掃されている。	3.0	3.1	3.1	3.1	3.2	2.9
13	学校には教育に必要な施設・設備が整っている。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1
14	少しでも家庭学習をおこなうようにしている。	2.7	2.5	2.4	2.5	2.5	2.4
15	学校行事を楽しみにしている。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3
16	挨拶はきちんとするように努めている。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3
17	積極的に部活動に参加している。	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
18	日頃から周囲や相手のことを思いやっして生活している。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	
19	環境問題に関心があり、日頃から何らかの取り組み（省エネ、リサイクル、エコ活動など）を実践している。	2.5	2.5	2.6	2.5	2.4	
平均家庭学習時間（1. 0～30分程度 2. 1時間程度 3. 1時間半程度 4. 2時間以上）		19.0	1.6	1.5	1.7	1.6	1.7
部活動加入率％（3年生は6月時点）		96.6	91.8	84.7	90.6	92.8	90.6

平成26年度 学校評議員による外部評価

1 自己評価結果について

	評価項目	評価	コメント
1	学校経営方針 学校経営方針の明示 等	3	・進路保障の実現その他よく努力されている。
2	教育活動 教科・生徒・進路指導、部活動	3	・就職状況ほぼ100%は素晴らしい。進学も良好である。
3	組織運営 校務分掌、自己研修 等	3	・良好。よく努力されている。
4	教育環境 学校環境の整備 等	4	・校内がたいへん清潔に保たれている。
5	開かれた学校づくり 保護者、地域との連携 等	3	・良好。保護者の意見も学校によく届いている。

2 学校の重点目標について

	評価項目	評価	コメント
1	「真剣に学ぼう」 真剣に授業に取り組み、本物の学力を身につけるよう努める (知)・・・自己に厳しく、学び続ける生徒	3	①私の考えるのは「夢や目標を持つ」である。学校の仕事の大きいものは、「できるだけ多くの生徒が目標の場所に進めるか」である。生徒の意欲等の多少があり非常に困難である。それが常にある生徒は次元の低い行動をとると思えない。夢や目標の取組みが志願者数の増加、商業高校の将来、家庭学習の不足、いじめの問題などの原点であると思う。 ②教養を身につける。 ③いじめなどの卑怯なふるまいをしてはならない。
2	「マナーを身につけよう」 基本的な生活習慣を身につけるよう努める (徳)・・・心豊かで思いやりのある生徒	3	
3	「心身共に鍛えよう」 部活動に積極的に参加するよう努める (体)・・・心身ともに健康づくりに取り組む生徒	3	

3 学校運営の改善に向けた取り組みについて

	評価項目	評価	コメント
1	自己評価への取り組み	3	・きちんと取り組んである。
2	学校運営の改善に向けた取り組み	3	・忙しいでしょうが、年間・学期の分掌等の反省点をいかに取組むかが大切であると思います。

4 自己評価結果を踏まえた今後の改善策について

<p>①教育モットーについては、生徒が喜んで入学するような夢、目標を含んだ内容に変更した方がよい。安心して学べる教育環境であることを生徒に伝えることが必要である。</p> <p>②商業高校への入学希望者の減少傾向が考えられるが、今後の見通しを考えて取り組んでほしい。</p> <p>③英語力の充実と語学に対する意欲と向上に繋がる教育をお願いしたい。</p> <p>④道徳心が滋養される研修、また精神的に強い生徒の育成をお願いしたい。</p>
--